講義名	対)教養特講Ⅰ（起業家を知る）					授業形態	
担当教員	岡田　恵実	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング	

主題と概要

起業はみなさんにとって身近ですか？
「起業家」と聞くと、どんな人をイメージしますか？
この科目では、様々な分野で活動・活躍しておられる起業家（新しく事業を立ち上げた人）の方々にお越しいただき、起業のきっかけから起業に至るまでの経緯、ビジネスの変遷と現在の事業概要、将来のビジョン等を講義いただきます。そして、起業とは何か、起業家になるには何が必要なのかを考えていきます。
自ら事業を立ち上げた起業家はもちろんのこと、親などから事業を承継し、新たな事業を立ち上げた第二創業の経営者にも講義いただく予定です。
新しいビジネスがどのようにして生まれるのかを学ぶとともに、起業を身近に感じて具体的なイメージを持つこと、そして、自分なりの起業家像を持ち、起業を将来の選択肢の一つと考えるきっかけをつくっていく科目です。

到達目標

１．新しいビジネスがどのように生まれるのか、起業とは何かを理解し、説明することができる
２．起業に必要な考え方や起業家に必要なものは何かを理解することができる

提出課題

第2回から第15回の講義について、レポートを提出してもらいます（レスポンでの提出を予定）。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

外部講師が担当する回に関しては、外部講師から回答がある場合は紹介します。
担当教員が担当する回に関しては、授業の中で必要に応じフィードバックします。

評価の基準

１．各回のレポート　80%
２．授業姿勢（参加姿勢、講師への質問等）　20%

・出席回数が11回以上、要件を満たすレポート提出が10回以上であることを単位取得最低要件とします。
・遅刻・早退、私語、居眠り、内職等、授業態度が悪い学生は減点します。
・評価項目の内容や割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

・本授業は、起業や事業承継に関心のある学生はもちろんのこと、ビジネスのリアルや新しいビジネスがどのように生まれるのかをを知りたい学生にぜひ受講してもらいたいと思っています。
・経営者の方に外部講師として来ていただきます。外部講師の方々は、多忙な業務の合間を縫ってお越しいただきますので、感謝の気持ちを持ち、失礼のない態度で受講してください。
・遅刻、授業途中での退出、私語、居眠り、スマホ等の内職は厳禁です。
・積極的な授業参加をしてください。

教科書

・使用しない.				

参考図書

・なし.				

その他

配布資料がある場合は講義連絡からPDFにて配信します。

授業計画

第1回　ガイダンスとイントロダクション
第2回～第14回　外部講師（起業家）による講義、トークセッション（11回程度を予定）
　現在、以下のようなさまざまな起業家の講義を予定しています。
　・スポーツ×教育を支援するアプリ開発ベンチャー起業家
　・服から服を作る等SDGSを実践するベンチャー起業家
　・食に関わる取り組みをする傾向の起業家
　・学生向リユース事業を全国に展開する女性起業家
　・会社員をしながら自身のブランドを立ち上げている起業家
　・IT・コワーキングスペース、地域活性化など様々な事業を立ち上げ実践している起業家
　・建物塗装・リフォーム会社を事業承継しながら職人育成会社を立ち上げ新事業に挑む経営者
　1～2回程度、担当講師による振り返り・学びの共有の授業を行います
第15回　全体のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習では、外部講師による授業の前に参考資料を提示しますので熟読、自分なりに整理、理解してください。また、事前に講師の企業や活動について下調べをしてください。
復習では、講義で学んだこと及び今日の学びを踏まえて今後自身が実践しようと思うことをレポートの形で丁寧にまとめてください。

予習、復習ともそれぞれ2時間を想定しています。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

・起業家として活躍する方に講義をしていただき、その内容を理解することを通じて、新しい視点と豊かな発想から新しい価値を生み出すことを理解し、自身もそれができることに気づく。
・起業や第二創業に関する傾向など基礎知識を身につけ、理解を深め、これをもとに起業等に関する課題と可能性について授業ができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中レスポンを活用して、問いを出したり、意見集約等を行うことを想定しています。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に２０年超勤務してきました。
その中で、起業に関心を持つ人たちを増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。

備考